

資料 2

各病院の主な取組み

各病院において、次のとおり、府立の病院としての役割を果たすための取組みや、医療課題に適切に対応するための診療機能の充実に取り組みました。

<25年度の取組み>

◆ 急性期・総合医療センター

- 基幹災害医療センターとしての大規模避難訓練の実施と、高度救命救急センターのPRによる積極的な救急搬送患者の受入れ
(救急車搬入患者数 25年度 5,936人 [24年度 4,954人])
- 府内唯一の難病医療拠点病院としての患者支援の推進や合併症症例の受入れ
(大阪難病医療情報センター療養相談件数 25年度 4,555件 [24年度 4,333件])
- 呼吸器外科の新設による肺癌等の呼吸器・胸部を対象とした質の高いがん医療の提供
(呼吸器外科における手術件数 25年度 116件 [25年度より開始])

◆ 呼吸器・アレルギー医療センター

- 慢性呼吸不全に対する円滑な在宅移行を見据えたきめ細かい専門医療の提供
(呼吸器リハビリテーション実施件数 25年度 9,689人 [24年度 6,853人])
- 食物チャレンジテストの積極的な実施
(食物チャレンジテスト実施件数 25年度 1,372件 [24年度 1,049件])
- 専門医が診断から治療まで一貫して行い診療科横断的な乳がん治療に対応できる乳腺センターを設置

◆ 精神医療センター

- 緊急救急病棟において精神疾患患者の緊急受け入れ要請に着実に対応
(緊急措置入院受入れ件数 25年度 51件 [24年度 50件])
- 医療型障がい児入所施設として自閉症児などの精神疾患患者の受入れ
(措置入所患児数 25年度 10人 [24年度 5人])
- 5床から33床に増床した医療観察法病棟における新規入院・転院の受入れ
(医療観察法病床新規受入れ人数 25年度 31人 [24年度 1人])

◆ 成人病センター

- 難治性・進行性・希少がん患者への最適な集学的治療の実施
(難治性がん手術件数 25年度 878件 [24年度 819件])
- IMRTのバージョンアップによる放射線治療の高速化
(放射線治療(IMRT)件数 25年度 8,660件 [24年度 6,898件])

* IMRT(強度変調放射線治療):放射線に強弱をつけ、腫瘍の形状にあわせて放射線を集中照射することで、周囲の正常組織への照射を減らすことができる治療方法

- 循環器疾患を有するハイリスクながん症例に対応し循環器内科での検査を充実

◆ 母子保健総合医療センター

- 総合周産期母子医療センターとして安定的な周産期医療を提供
(母体緊急搬送件数 25年度 189件 [24年度 141件])
- 新生児や胎児に対する手術などの高度専門医療の提供
(双胎間輸血症候群レーザー治療実施件数 25年度 44件 [24年度 34件])
- 入院している子どもの在宅療養への移行を支援
(在宅療養指導管理料算定実患者数 25年度 973人 [24年度 969人])